

2022 年度 第 2 回 夏のつどい部会 議事録

2022 年 5 月 8 日 (日) 10:00

場 所 : 青少年センター

司 会 : 田中正平

参加者 : 26 名+3 名 (zoom) /48 名

配布物: 第 2 回レジュメ・前回議事録・4/24 下見報告・5/14 下見のしおり (計 4 枚)

1・あいさつ 中川会長より

最初の下見を経て子どもたちと同じ体験しオーバーナイトハイクへの理解が少し深まったと思う。安全安心を第 1 に考えた上で子どもたちに楽しんでもらうイベントにしたい。そのためには今後の部会に積極的に参加し意見をおおいに交わしてほしい。

2・配布物 (上記)

3・本日の議題及び報告事項

① 感染症対策チーム発足について (梅林)

イベント開催に先立ち教育長宛の協力依頼文書の作成急務。文書の内容の肝はコロナ対策。そこで「感染症対策チーム」を立ち上げた。現時点での方向

- 可否判断: 緊急事態宣言・まん延防止など各種発令で中止判断
- 開催規模: 募集人数 400 人 100 名×4 グループ (例年 800 人なので半分)
一番小さい休憩場所 十倉二小体育館での安全な距離確保を基準
- 募集方法: オンライン
- 手指消毒・検温 (回数は検討) 体温 37.5℃以上は歩かせない。
- 学校関係者へ同行などの協力依頼を「しない」※例年している

コロナ対策 (コロ対) 各部署ごとの必要な対策を考えるチーム

吉原・飯島・平川・都竹・西・大木・安藤 (敬称略)

② 2022 年参加受付方法の変更について (梅林)

- オンライン・理由: 人との接触をさける。業務の簡略化
(例年: イベント概要と参加申込み書を事前配布・相談員が学校へ直接赴き参加受付)
? 参加費 500 円いつ受け取る (例年: 申込み受付の時に直接受け取り)
候補 1 学区説明会 (7 月)・忘れた人にも「当日持ってきて」と言える。相談員が預かる負担
候補 2 ONH 当日・相談員が預かる負担は無いが 当日の受付作業が増える。忘れた人への対応は?
? 募集して 400 人の定員を超えた場合はどうする?
→定員を守るため 3 年生・2 年生・1 年生の順で抽選

③ 4/24 下見報告 (綾部)

目的: 子どもたちが歩く同じコースを実際に歩く体験を通じて理解を深める

【アンケートの結果】

自分が歩けるかだけでなく、子どもたちを連れて歩けるかを考える必要あり。ウォーキングシューズの選定土手は動物の糞がたくさある。夜間歩くので両手の空くライトの準備。雨具の準備は必須 (ポンチョがらく) 休憩所での検温のタイミングと回数 1 回でいいのでは? 歩行中に自転車がきたらどっちにさけるのか→道路の反対側 靴下の 2 枚ばき。マスク着用: コロナ対策と熱中症対策両方考える必要あり
歩行中に何か来た時に合い言葉

④ 参加記念品の検討 (吉原)

タオル・星形の反射キーホルダー・光るリストバンド・完歩パン (チョコ・クリーム)

- *タオル: イラストは例年子どもたちから募集していたが、今年度は時間の都合上相談員内で探す。
- *星形の反射キーホルダー: 夜間歩行の安全対策として「反射するもの」を付ける事を条件に警察から協力してもらっているので、何かしら「反射するもの」をつける必要あり

⑤ 「通過連絡」方法の検討 5/14（土）下見で実施（田中）

【本番の出発時間 2018 年度】

A	45分	B	45分	C	45分	D
20:30		21:15		22:00		22:45

仮にAグループが 10 分遅れたとすると、
Aが休憩所で休憩中に次の
Bが到着してしまう。

- 休憩所でグループがバッティングしないよう調整するのに、本部で全グループの現在地を把握する
→グループの先頭（グループリーダー）とグループの最後尾（サブリーダー）がそれぞれ、各地点を通過した時に本部へ通過時間を電話で知らせる→「通過連絡」
- 次回下見で実施したい事・LINE 電話を使用して通過連絡→LINE 電話をツールとして使用可能？
 - ・グループリーダーの仕事練習
 - ・連絡を受ける側（本部）の練習

⑥ オーバーナイト当日の役割について 2019 年度（谷口）

- グループリーダー（歩行）グループの先頭で歩行ペースを作る。通過連絡を本部へ入れる。
- 同行責任者（歩行）自学区の最後尾。自学区で自分より遅れる参加者は救護対象、救護要請をする
- 同行（歩行）参加者を見守りつつ、必要な時には声がけをする。
- 休憩所 A スタート受付→市柏（スタート設営、受付業務と片付け・市柏運営と片付け）
- 休憩所 A-2 市柏→ゴール（市柏設営と運営・ゴール設営、運営と片付け）
- 休憩所 B 富勢東→十余二（富勢東設営、運営、片付け・十余二設営、運営、片付け）
- バイク隊 分岐点に立ち歩行者を誘導、開催前に看板の設置
- 救護 運転手と連絡係(男女)ペアで動く。コース場の看板設置。本部からの要請で救護者のピックアップ
(☆役割とコース PDF・全体の流れ休憩所 PDF 参照)

⑦ コース概要（谷口）

⑮

⑮

③⑩

③⑩

⑮

⑮

緊急待避場所：スタート→柏第五小→ふるさと大橋下→マルキン駐車場→富勢中→富勢小→富勢東

③⑤

⑮

90

市柏→流経柏バス待機場→十余二→柏中ゴール

☆4 ふるさと大橋付近（給水・伸びた列まとめる）

☆15 土手入口（給水・伸びた列まとめる）

☆26 柏市浄水センター付近・信号短い（1 回信号待ってでも列まとまって渡る）

☆28 タイヤ館の後、信号多く分断されるが走らせない。

土手や市柏の先の道路は行政が草取りをする。

- 信号待ちで列をまとめた時のソーシャルディスタンスは？

A. 「大人はマスク」「マスクを外す際はしゃべらない」などを励行することで濃厚接触者とならない。

（現時点の見解）

- 隊列は崩したらいけないのか

A 学区内では自由だが前の学区を追い抜いてはいけない

- 休憩所の下見はできるのか？コンセンツの場所などデータで残したらどうか

A 代表者で前回は実施。コンセンツの場所など確認。データにも残す。

【その他】

- Google フォームを使用時のアンケート回答は学区内で回答を把握できない
→回答を学区内で共有する必要がある時（担当の希望など）は、夏つど部員が責任を持って自学区の回答を確認する
- 質問の内容について投げ方を使い分ける（Google フォームで一斉・夏つど部員が回答をまとめて本部へ報告）

4・連絡確認事項

直近の活動予定

第2回下見（夜間） 5月14日（土）/第3回部会 5月22日（日）13:00~